

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2016年4月)

平成28年5月  
在アルジェリア日本国大使館

1. 内政

● シャキーブ・ハリール元エネルギー大臣のザーウィア訪問

先月3年ぶりに米国から帰国したシャキーブ・ハリール元エネルギー大臣の動向はその後にも注目が集まった。同元大臣は、4月に入ってから地元へ根付いた宗教施設である各地のザーウィア訪問を開始したが、訪問に同行する当局の警備体制の厳重さや、各県知事との面会などから、同元大臣が次期大統領職に就くための準備を行っているのではないか等の噂が広まった。もっとも、27日にアイン・デフラ県を訪問した際、同元大臣はメディアに対し、大統領になる野望は持っていないと発言した。

● ブーテフリカ大統領の定期健康診断

24日、大統領府はコミュニケを発表し、ブーテフリカ大統領が同日、私的訪問のためにジュネーブへ出発し、同地訪問中に定期健康診断を受けることを明らかにした。また、大統領府は、29日、同大統領が同地での訪問を終えて本国に帰国した旨コミュニケを発表した。

● 外務次官の交替

3日、ベレクシ外務次官に代わって、ハサーン・ラービヒが外務次官に就任する式典が、ラマムラ外務大臣やメサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣が出席する中、外務省で行われた。ラービヒ次官は、駐ガーナ大使や駐中国大使を歴任。他方、ベレクシ前次官は駐イタリア大使に任命された。

2. 外交

● アルジェリア・仏関係の不和

6日、ラマムラ外相は、仏大使を召還し、パナマ文書疑惑でブーテフリカ大統領の写真を掲載した仏ル・モンド紙等の報道姿勢に強い抗議を表明した。

9-10日、ヴァルス仏首相が予定されていた第3回第仏・アルジェリア・ハイレベル政府間委員会開催のためにアルジェを訪問し(10名の仏閣僚及び約100名の仏財界人が同行)、ブーテフリカ大統領やセラル首相と会談、同委員会では司法、教育、社会保障等の分野に係る計9本の協力合意が両国政府間

で署名された。その後に行われた第3回仏・アルジェリア・パートナー・フォーラムでも計15本の企業間の合意が成立したが、プジョーのオランでの現地組み立て工場設立に関する合意の署名は延期された。

また、上記訪問後、ヴァルス首相が自身のツイッター上に、ブーテフリカ大統領との会談の写真を掲載したが、疲労困憊した同大統領の写真を意図的に掲載したとして16日、ラマムラ外相、ウーヤヒヤ民主国民連合（RND）党首代行、ハヌーン労働党首、グル・アルジェリアの希望連合（TAJ）党首等がこれを批判した。

### ● メサヘル大臣のシリア訪問

25日、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣はシリアを訪問し、アサド大統領と会談した。同会談で、メサヘル大臣は、シリアの安定・安全とその一体性・団結を保持するためにテロと戦うシリア国民に対するアルジェリアの支持を伝達。また、アルジェリアの国民和解の経験を説明した。また同日、メサヘル大臣は、ジャザイーリー経済通商大臣とともに、第2回シリア・アルジェリア・フォローアップ委員会を開催し、議事録に署名。本委員会は、両国間の諸分野での協力の柱を定めるものであり、近くアルジェで開催される第3回拡大混合委員会の準備も兼ねたものである。

### ● セラル首相の露訪問

27日、セラル首相は、ラマムラ外務大臣、ケブリ・エネルギー大臣、ブシユアレブ産業・鉱業大臣、ベライブ商業大臣とともにロシアを訪問したセラル首相は、メドヴェージェフ首相と会談した他、アルジェリア原子力委員会と露国営企業間の協力など計5本の了解覚書が署名された。また、総勢約500名（うちアルジェリア人企業家は200名以上）が参加して開催されたアルジェリア・ロシア経済フォーラムにおいて、ハダッド・アルジェリア経団連（FCE）会長とチョーキン企業・製造業連合会長との間で経済協力了解覚書が署名された。

## 3. 治安

### ● コンスタンティーンヌでのテロ掃討作戦

報道によれば、15日、コンスタンティーンヌ県の県庁所在地コンスタンティーンヌ地区北東端に位置するウアーシュ山岳において、掃討作戦中の軍の車列が手製ロケット弾の襲撃を受け、それに続くテログループとの撃ち合いの中で将校を含む軍人4名が死亡し、複数が負傷した。犯人グループの人数は不明であるものの、消息筋はAQMIのために活動する分子とみている。本件は、セラ

ル首相のコンスタンティーヌ訪問の前日に発生したことから、首相の訪問目的であった「コンスタンティーヌ、アラブ文化首都」の終了式典を妨害するのが狙いであったとの情報もある。

#### ● エル・ウェッド県での武器の大量押収

軍は15日、エル・ウェッド県中部クイディン地区において、大量の武器・弾薬の隠し場所1箇所を発見した。押収品の内訳は、口径60ミリと80ミリの迫撃砲3台、FM機関銃6丁、口径12.7ミリ機関銃1丁、口径14.5ミリ機関銃1丁、RPG7ロケット弾発射機4機、カラシニコフ小機関銃109丁、狙撃銃4丁、口径60ミリと80ミリ迫撃砲用砲弾95個、推進薬の装填されたRPGロケット弾136個、種々口径の銃弾35,014個、攻撃・防御用手榴弾54個、対戦車地雷6個、弾帯10本及び銃弾用薬包262個となっている。

## 4. 経済

### ● 国債

9日、アルジェリア政府は、原油価格の下落による財政収支の悪化を受け、国債の発行及び同国債の概要について発表した。同国債は「経済成長のための国債」と名付けられ、一株50,000アルジェリアン・ディナール(DA)で、利率が5%~7.5%、償還期限は3~5年。

### ● ソナトラックのプラント改修プロジェクト

12日、当地各紙は、国営炭化水素公社ソナトラック社が、ハッシメサウドの原油・ガス処理設備の改修プロジェクトの契約を日揮と締結したと報道した。プロジェクトの契約金額は3億6,000万ドル、工期は24ヶ月から48ヶ月。

### ● ベライブ商務大臣の自動車の輸入ライセンスに関する発言

18日、ベライブ商務大臣は、APS（アルジェリア国営通信）の取材に対し、今後15日以内に自動車の輸入ライセンスを公布し、更に各メーカーに年間の輸出総額を設けると発表した。

### ● グリン報道大臣のセヴィタル社に対する発言

18日、グリン報道大臣は、セヴィタル社が今年3月に当地アラビア語紙エル・ハバール紙を買収した件に関し、「同社は既に当地仏語紙リベルテ紙のオーナーであり、右買収は1法人が2つの新聞社を買収することを禁じている法律

に抵触している可能性がある」と指摘した。同発言に対し、同社のレブラブ社長は、リベルテ紙を所有しているグループとは別のグループがエル・ハバールを所有することになるため、法的には何の問題もないと反論している。

## 5. 我が国との関係

### ● 藤原大使の外務省外交国際関係研究所での講演

6日、藤原大使は、当国外務省外交国際関係研究所（IDRI：大使級の外交官の指導により外交研修員がアルジェリア外交のために貢献できるよう育成する研修所）において、「日本外交のプライオリティーG7伊勢志摩サミット及びTICADVIを前にー」と題した約40分の講義を行い、その後60分の質疑応答を実施した。

### ● 藤原大使のアルジェ第3大学での講演

27日、藤原大使は、アルジェ第3大学において、「日本経済の発展と日アルジェリア関係」と題した約40分の講義を行い、その後50分の質疑応答を実施した。今回の講演には経済学を学び研究する大学院生を中心に、約200人収容の講堂が満席になるほどの学生が聴講し、日本に対する関心の高さが窺えた。

### <アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
4月1日	モーリタニア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣	アブデルアジズ大統領と会談等（ブーテフリカ大統領特使）
4月2日	ニジェール	ウルド・ヘリファ国民議会議長	大統領就任式典に出席
4月3日	サウジアラビア	ベライズ国務大臣兼大統領特別顧問	ベン・アブデルアジズ副首相兼内務大臣と会談等
4月4日	中国	サアダニFNL党首	李源潮国家副主席と会談等
4月5日	エチオピア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣	マリアム・デサレグン首相と会談、AUC閣僚委員会に出席

4月7日	サウジアラビア	ヌーバ憲兵隊司令官、ハメル警察庁長官	軍事パレードに出席
4月8日	スイス	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣	暴力的過激主義防止に関するジュネーブ会議に出席
4月12日	トルコ	ラマムラ外務大臣	第13回イスラム協力機構サミット準備会合に出席
4月15日	トルコ	ベンサラ国民評議会議長	イスラム協力機構サミットに出席
4月16日	コンゴ民	ウルド・ヘリファ国民議会議長	大統領就任式典に出席
4月17日	アラブ首長連合	ブシュアレブ産業・鉱業大臣	第一回アルジェリア・ア首連経済フォーラムに出席
4月19日	アメリカ	ルー法務・国璽大臣	国連麻薬委員会特別会合に出席
4月20日	リビア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣	サラジ大統領評議会議長と会談等
4月22日	アメリカ	ラマムラ外務大臣	COP21協定調印式に出席
4月24日	シリア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣	アサド大統領と会談等
4月25日	リビア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟担当大臣	タマム首相、バシル外務大臣と会談等
4月25日	チュニジア	ベドゥイ内務・地方自治大臣	第6回アラブ・マグレブ連合閣僚会合に出席
4月27日	ロシア	セラル首相、ラマムラ外務大臣、ケブリ・エネルギー大臣、ブシュアレブ産業・鉱業大臣、ベライブ商業大臣	露・アルジェリア経済フォーラムに出席、メドヴェーチェフ首相と会談等

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
4月4日	チュニジア	エンナーセル国民代表 議会議長	ウルド・ヘリファ国 民議会議長と会談 等
4月4日	イタリア	ピサピア・ミラノ市長	ベドゥイ内務・地方 自治大臣と会談等
4月5日	スウェーデン	パーション北欧協力・戦 略的開発大臣	ラマムラ外務大臣 と会談等
4月5日	ドイツ	シェラー連邦議会副議 長	ウルド・ヘリファ国 民議会議長と会談 等
4月10日	フランス	ヴァルス首相	ブーテフリカ大統 領、セラル首相と会 談、第三回 COME F A に出席
4月11日	アメリカ	ウィナー・リビア問題担 当特使	メサヘル・マグレ ブ・AU・アラブ連 盟担当大臣と会談 等
4月15日	赤道ギニア	ムバ・モクイ外務大臣	セラル首相と会談 等
4月17日	パレスチナ	ハムダラ首相	ブーテフリカ大統 領、セラル首相、ラ マムラ外務大臣、メ サヘル・マグレブ・ AU・アラブ連盟担 当大臣、ベドゥイ内 務・地方自治大臣と 会談等
4月18日	ドイツ	ロス連邦議会副議長	ベンサラ国民評議 会議長と会談等
4月19日	国際金融機関	アデシナ・アフリカ開発 銀行総裁	セラル首相と会談 等
4月19日	インドネシア	ヒダヤット憲法評議会 議長	メデルシ憲法評議 会議長と会談等

4月20日	チュニジア	ムバレク文化・遺跡保護大臣	セラル首相、ミフビ文化大臣と会談等
4月22日	ヨルダン	エンスール首相	セラル首相と会談等
4月23日	西サハラ	アドゥーフ評議会議長	ベンサラ国民評議会議長、ウルド・ヘリファ国民議会議長と会談等
4月24日	中国	钱外交部副部長	ラービヒ外務次官と会談等
4月24日	アラブ首長国連邦	エル・マズルーイー・エネルギー大臣	セラル首相、ヘブリ・エネルギー大臣、ブシュアレブ産業・鉱業大臣と会談等
4月25日	中国	伍中国開発銀行国際協力担当局長	タライ運輸大臣と会談等

(了)